

プラスチック化学リサイクル研究会第3回討論会

主催：プラスチック化学リサイクル研究会

協賛：（五十音順）エコマテリアル研究会、塩ビ工業・環境協会、塩化ビニルリサイクル推進協議会、化学工学会、環境科学会、クリーンジャパンセンター、高分子学会、石油学会、資源リサイクルシステムセンター、触媒学会、電線総合技術センター、日本化学会、日本エネルギー学会、廃棄物学会、プラスチック処理促進協会、PETボトル協議会

講演会

日時：2000年（平成12）10月16日（月）10:00AM～18:00PM
10月17日（火）10:00AM～16:15PM

場所：東京・工学院大学新宿キャンパス 3階312大教室
（右図参照）最寄の駅JR新宿駅から徒歩5分

懇親会

日時：2000年（平成12）10月16日（月）18:00AM～20:00PM

場所：東京・工学院大学新宿キャンパス隣り、
エステック情報ビル4階「Y's」（右図参照）
最寄の駅JR新宿駅から徒歩5分

参加登録費（予稿、無料懇親会含む）

当日 会員 12000 円
非会員 17000 円
学生 5000 円



特別講演 10月16日（月）13:00-14:00

「循環型経済に向けた取り組み」

通産省環境立地局リサイクル推進課長

座長・藤元 薫(東大)

田辺 靖雄 氏

招待講演 10月16日（月）17:00-17:30

「神奈川プラの取り組みと自治体」

神奈川県大磯町議会議員

座長・佐藤 芳樹(資環研)

田端 裕 氏

招待講演 10月17日（火）14:00-14:30

「モノマー回帰法によるPETボトルの循環型リサイクルシステムの構築について」

東日本ポリエステルリサイクル社長

座長・奥脇 昭嗣(東北大)

稲田 氏

問合せ先：

東京大学大学院工学系研究科 関根 泰

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学工学部5号館

TEL 03-5841-7260、FAX 03-5841-8578、E-mail: tt57196@hi-ho.ne.jp

FSRJ 2000

プラスチック化学リサイクル研究会第3回討論会 プログラム

2000/10/16-17 主会場・東京・新宿工学院大学新宿キャンパス3階大講堂

第一日 [10月16日]

- | | | |
|---|---|-------------|
| 座長・小山 俊太郎(日立) | コーヒーブレーク | 15:00-15:15 |
| 1-1 廃プラスチックのガス化
10:00-10:15
(宇部興産)○亀田 修 | | |
| 1-2 廃プラスチック油化システム
の運転開始状況
10:15-10:30
(東芝)○安部 裕宣・伊部 英紀
早田 輝信・河内 恭三 | 1-10 プラスチック・炭素材・水素供与性溶媒系の熱分解課程における化学的相互作用
15:15-15:30
(資環研)○ニタ村 森 | |
| 座長・井上 正典(宇部興産) | 1-11 分子量分布の経時変化に基づくフェノールホルムアルデヒドノボラックの液相熱分解の速度論的解析
15:30-15:45
(資環研)○小寺 洋一・佐藤 芳樹・加茂 徹
(住友ベークライト)後藤 純也・松井 泰雄 | |
| 1-3 廃プラスチックの熱分解特性と生成油の性状
10:30-10:45
(日立)○山田 良吉・小山 俊太郎・小久保 匡由
(日立エンジニアリング)松嶋 徳紀・原 章博
(アイピーイー)西田 章 | 座長・加茂 徹(資環研) | |
| 1-4 廃プラスチック熱分解油化発電設備の熱効率と経済性
10:45-11:00
(日立エンジニアリング)○原 章博・松嶋 徳紀
(日立)小山 俊太郎・山田 良吉
宇野 元雄・高橋 真一
(アイピーイー)西田 章 | 1-12 超臨界水中におけるプラスチックおよびそのモデル化合物の分解反応
15:45-16:00
(山形大)○加藤 千恵・門川 淳一・多賀谷 英幸 | |
| 1-5 廃プラスチック熱分解油標準化調査研究
11:00-11:15
(日石テクノロジー)○寺本 幸治郎 | 1-13 The Role of Temperature Program and Catalytic System on the Quality of Acrylonitrile-butadiene-Styrene Degradation Oil
16:00-16:15
(岡山大)○M.Brebu・M.A.Uddin・武藤 明德・阪田 祐作
(P.Poni Inst. of MacroMol. Chem. Rom)C. Vasile | |
| ポスターセッション
(ポスターは2日間通して掲示します) | 座長・中野 勝之(福岡大) | |
| 昼食(各自) | 1-14 超臨界流体を用いた難処理プラスチックの化学リサイクル
16:15-16:30
(静岡大)佐古 猛
(物質研)岡島 いづみ・菅田 孟 | |
| 特別講演
「循環型経済に向けた取り組み」
(通産省環境立地局リサイクル推進課長)○田辺 靖雄 | 1-15 ポリカーボネート樹脂のモノマーリサイクルの検討
16:30-16:45
(日本ビクター)○辻田 公二・川合 登・高橋 輝雄
(資環研)佐藤 芳樹・加茂 徹・小寺 洋一 | |
| 座長・藤元 薫(東大) | 1-16 ポリカーボネート(PC)のモノマーへのリサイクル
16:45-17:00
(京都工芸繊維大)○畑 宗平・山田 悦・奥 彬 | |
| 1-6 冷蔵庫断熱材発泡ウレタンからの加熱型フロン回収方法の開発
14:00-14:15
(東芝)○早田 輝信・今 雅夫・轟木 朋宏・小田 毅 | 招待講演
「神奈川プラの取り組みと自治体」
(神奈川県大磯町議会議員)○田端 裕 | |
| 1-7 塩ビ電線被覆材の高炉原料化
14:15-14:30
(電線総合技術センター)○植松 忠之 | 懇親会
講演会場となりのビル4階
「Y's」にて(会費無料) | 18:00-20:00 |
| 座長・斉藤 喜代志(北工研) | | |
| 1-8 ポリ塩化ビニルの熱分解における圧力の影響
14:30-14:45
(資環研)○加茂 徹・小寺 洋一・佐藤 芳樹 | | |
| 1-9 高分子熱分解における圧力の効果
14:45-15:00
(日本省エネ)村田 勝英
(岡山大)阪田 祐作 | | |

第二日 [10月17日]

- 座長・ニタ村 森(資環研)
- 2-1 スチレン系樹脂を原料とするp-ニトロ安息香酸合成
10:00-10:15
(神奈川県産総研)○高橋 亮・佐藤 瑞・木村 皓一
- 2-2 伝導型熱量計による高分子の熱物性測定
10:15-10:30
(北工研)○齊藤 喜代志・成田 英夫
- 2-3 ポリオレフィンの水素化熱分解
10:30-10:45
(東大)○上村 知弘・関根 泰・藤元 薫
- 座長・増田 隆夫(京大)
- 2-4 酸化物触媒によるPET を含むプラスチックの油化に関する研究
10:45-11:00
(福岡大)○陶山 将樹・大淵 英子・中野 勝之
- 2-5 プラスチック接触分解の反応装置依存性
11:00-11:15
(室蘭工大)○上道 芳夫・小野 直人・鈴木 敏宏
- 2-6 ポリプロピレンなどの分解における水素キャッピングの効果
11:15-11:30
(東大)○関根 泰・加藤 啓応・上村 知弘・藤元 薫
- 座長・上道 芳夫(室蘭工大)
- 2-7 廃プラスチック熱分解ガスによるゼオライトの劣化
11:30-11:45
(神奈川県産総研)○松本 佳久
- 2-8 鉄触媒を用いた高分子鎖の水蒸気分解
11:45-12:00
(京大)○増田 隆夫・霜鳥 勉・近藤 由美
河瀬 元明・橋本 健治
- 昼食(各自) 12:00-13:30
- 座長・阪田 祐作(岡山大)
- 2-9 PVCの熱処理におけるダイオキシン類の生成挙動
13:30-13:45
(東北大)○柴田 悦郎・山本 暁・葛西 栄輝・中村 崇
- 2-10 高圧二酸化炭素とTHFの混合溶媒によるPVCの多孔質化
13:45-14:00
(中央大)○須賀 昭二・大丸 裕平・船造 俊孝
(関西大)林 順一
- 座長・奥脇 昭嗣(東北大)
- 招待講演 14:00-14:30
「モノマー回帰法によるPETボトルの循環型リサイクルシステムの構築について」
(東日本ポリエステルリサイクル社長)○稲田社長
- コーヒーブレイク 14:30-14:45
- 座長・柳生 秀樹(電線総合技術センター)
- 2-11 TG-MSによるポリ塩化ビニル熱分解挙動のその場解析
14:45-15:00
(東北大)○吉岡 敏明・赤間 鉄宏
内田 美穂・奥脇 昭嗣
- 2-12 メカノケミカル法によるPVCの非加熱脱塩素処理と添加剤の影響
15:00-15:15
(東北大)○佐伯 周・加納 純也・齊藤 文良
(住友金属)眞目 薫

- 2-13 塩素系ポリマー含有廃プラスチックの脱塩素技術の開発
15:15-15:30
(日本製鋼所)○時久 昌吉・炭広 幸弘・千村 禎
(日鋼設計)橋本 憲明
- 座長・吉岡 敏明(東北大)
- 2-14 A new catalytic system for the removal of chlorine compounds from PVC containing waste plastic derived oil
15:30-15:45
(岡山大)N.Lingaiah・M.A.Uddin・森川 浩平
武藤 明德・阪田 祐作
(日本省エネ)村田 勝英
- 2-15 PVC燃焼時に発生する塩素捕捉促進用酸化鉄触媒
15:45-16:00
(戸田工業)○松井 敏樹・藤井 泰彦
沖田 朋子・今井 知之
- 2-16 熱重量分析-質量分析による金属酸化物とポリ塩化ビニルの反応解析
16:00-16:15
(東北大)○平沢 政弘
- 16:15終了予定

ポスターセッションプログラム

- P-1 高温アルカリ水溶液を用いた混合廃プラスチックの脱塩素処理とフタル酸ジオクチル(DOP)の加水分解同時酸素酸化
(東北大)○森山 正浩・外間 省吾・吉岡 敏明
内田 美穂・奥脇 昭嗣
- P-2 高温水中での化学反応
(山形大)○柴崎 陽子・門川 淳一・多賀谷 英幸
- P-3 流動接触分解によるポリオレフィンのガス化
(北大)○宮田 将充・辻 俊郎・伊藤 博徳
- P-4 メソポーラス触媒を用いるプラスチックの分解
(室蘭工大)○佐々木 康晴・上道 芳夫
ジョン・ダパー・杉岡 正敏
- P-5 超臨界水中におけるプラスチックの分解反応
(山形大)加藤 千恵・○古川 友美
門川 淳一・多賀谷 英幸
- P-6 紙・フェノール樹脂積層板の熱分解
(東北大)○古沢 正明・吉岡 敏明
内田 美穂・奥脇 昭嗣
- P-7 ポリエチレンの接触分解による水素および芳香族炭化水素へのリサイクル
(室蘭工大)○山口 洋平・上道 芳夫
- P-8 The Changes in the Structure and Catalytic Activity of Iron Oxides During the Degradation of ABS into Fuel Oil
(岡山大)○M.Brebu・M.A.Uddin
武藤 明德・阪田 祐作・C.Vasile
- P-9 高温水中におけるプラスチックモデル化合物の分解反応
(山形大)安藤 快・○河崎 孝史
門川 淳一・多賀谷 英幸

会費の徴収にご協力下さい

当学会の活動エネルギーは法人、個人の方々の会費によって支えられています。

郵便振込口座番号：02240-9-41884

口座名義：プラスチック化学リサイクル研究会

または

東京三菱銀行 仙台市店

名義：プラスチック化学リサイクル研究会

普通預金 口座番号：320-0998128

事務局からのお知らせ

○本号の論文タイトルは、編集部の都合により別途配布することになりましたので、ご了承下さい。

○当研究会ではインターネット上にホームページを開設しております。是非一度覗いてみて下さい。

<http://ctkc4.yz.yamagatau.ac.jp/plastic/FSRP.html>

○ ISFR' 99の予稿集の残部を一部12000円で販売しております。入手ご希望の方は、研究会事務局までご連絡下さい。

現在の会員数(2000年9月29日現在)

法人会員 26団体、

個人会員 172人(学生会員 13人)

<編集後記>

21世紀のキーワードの一つに環境が含まれることは自明である。人間社会で使用される製品は、その高機能化のために多様なプラスチックが使用されてきた。しかし、現在は多くのメーカーにおいて環境と共生する高循環型商品を模索し、その一環として使用するプラスチックの種類を少なくすることに車や家電メーカーの一部で成果を挙げつつある。当然ながら、使用するプラスチックのリサイクルが重要な位置を占める。健全な人間社会を維持するためにも、高分子材料合成の専門家とプラスチックリサイクルの専門家の緊密な意見交換の場がさらに必要性であり、それによって真の意味での“環境対応型プラスチック材料”が開発されると考えます。(T.M)

プラスチックのリサイクル方法としては、現在、NKKの高炉吹き込みが頭一つリードしており、それに次いでガス化が後を追ひ、油化やRDFは若干苦戦が続いていると言った感じでしょうか。その中で、NKKの牙城を脅かす可能性を秘めた新技術が新日鐵によって提

案され、実用化へ向かって走りだしました。本ニュースでは特集記事として早速取り上げてみました。まだ具体的なデータ等を公表できないとのことですが、今後の成果を期待したいと考えております。(T.K)

プラスチック化学リサイクル研究会ニュース編集部

資源環境技術総合研究所、エネルギー資源部
加茂 徹 〒305-5869、つくば市小野川16-3、
Tel: 0298-61-8427, Fax: 0298-61-8409
e-mail: kamo@nire.go.jp

京都大学大学院工学研究科化学工学専攻、
増田隆夫 〒606-8317、京都市左京区吉田本町
Tel: 075-753-5583, Fax: 075-761-7695
e-mail: takao@cheme.kyoto-u.ac.jp